

〈体育科〉 6年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・技能のポイントを捉えながら、運動している児童が多い。
- ・知識として技能のポイントを知っているが、動きとして表現することができない児童も多い。
- ・ボールの扱いの個人差が大きい。（ボールを持たないときの動きにも個人差あり）

〈思考力, 判断力, 表現力等〉

- ・チームで取り組む学習では、練習方法や作戦を考えながら学習に取り組んでいた。
- ・自分の考えをもって伝え合おうとしている児童が増えてきた。
- ・自分のめあてを意識して取り組む児童が少ない。

〈学びに向かう力, 人間性等〉

- ・運動に対する関心や意欲は高くもっている。
- ・約束やきまりを守って運動する子どもが多い。
- ・外遊びをしない児童もいる。
- ・多くの児童が朝食をしっかりと食べて登校しているが、食べずに登校する児童も少なからずいる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・楽しく運動に取り組みながら、基礎的な技能を身に付けること。
- ・体力の向上を意識して運動に取り組ませること。

〈思考力, 判断力, 表現力等〉

- ・試合やゲームの結果を意識するだけでなく、練習や試合で友達と協力し、楽しさや充実感を感じさせ、チームワークの大切さを意識させる必要がある。また、勝敗を受け入れる大切さも伝えていく。
- ・自分またはチームの技能を高めるにはどうしたらよいか考え実践できるようにする。

〈学びに向かう力, 人間性等〉

- ・めあてに向かって進んで取り組み、一人一人が楽しく運動できるように工夫しようとする態度を育てる。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・運動の特性に応じた技能のポイントを明確にすることで互いに教え合える環境をつくったり、自分の能力に合っためあてをもち、自分の課題に合った活動ができるような場を設定したりする。
- ・スモールステップで授業を進める工夫をし、基本的な技能からしっかりと身に付けさせる。
- ・互いに教え合い、技能が向上するために、異質グループで学習をすすめる。
- ・工夫しやすく実感をともないやすい運動を選択したり、配置したりする。

〈思考力, 判断力, 表現力等〉

- ・一人一人が練習方法を工夫したり、チームで作戦を考えたりできるように学習カードを工夫する。
- ・自己の課題を書き込むことのできる学習カードを作成していく。
- ・学習中のチームの良さや課題を話し合う振り返りの時間を設ける。
- ・何をすべきか、どんな言葉かけをしていくかが分かりやすくなるような掲示物を作成する。

〈学びに向かう力, 人間性等〉

- ・めあてをもって進んで運動に取り組めるよう、学習カードを活用していく。
- ・友達が頑張っていること・上手にできるようになったことなどを認め合う態度を育てる。
- ・ねらいを明確にし、スモールステップで授業をすすめる、できる喜びや達成感を得させる。
- ・体力を高めることの意義を伝え、運動の日常化につなげるなげかけをしていく。
- ・日常化につながりやすい運動を選択していく。
- ・楽しんで行えるよう合言葉を活用していく。